

学生生活サポート

未来工房

未来工房は、学生たちのアイデアの実現を支援する施設です。ここには、各種工作機械・工具が用意され、ものづくりを志す学生が集い、交流・協力が盛んに行われています。校内の公募によって選ばれた学生発のプロジェクトを支援するとともに、高専ロボコン、高専デザコン、ロボカップ、プログラミングコンテスト、衛星設計コンテスト、鳥人間コンテストなど各種コンテストへ出場する学生の支援も積極的に行ってています。



校内塾・パソコン室の利用

本校には、先輩学生がSA(Student Assistant)としてサポート・助言を行うことにより、低学年(1~2年生)の学生の学習姿勢、意欲を向上させる“校内塾”という制度があります。学校内に塾があると変な感じがするかもしれません、そもそも“塾”とは門の両側にある建物のことでした。昔は学び始めたばかりの者たちをそこに集めて手ほどきしていました。校内塾では、先生が指定した演習問題について、先輩たちが勉強を教えてくれます。参加するのに費用もかかりません。まず、塾生として参加して、上級生になつたらSAにもチャレンジしてみませんか。また、放課後はパソコンが40台ある部屋を自由に使うことができ、授業中に終わらない課題などに取り組むことができます。



授業料の減免制度・奨学金について

入学料や授業料の納入が困難な場合には、減額又は免除する国や都、法人独自の制度があります。また、各種奨学金(独立行政法人日本学生支援機構、東京都育英資金等)の取扱いもおこなっており、在学中の学校生活のサポートをおこなっています。(概要は下記参照)。

①高等学校等就学支援金【国の制度】

1~3年生まで(入学後36ヶ月まで)の学生で、所得要件に合致する学生を対象に、国が支援金を支給する制度です。最大で授業料全額が国から支給されます。支援金は学生本人に代わって本校が受け取り、授業料に充当します。充当後に差額がある場合は、差額分を請求します。

②東京都立産業技術高等専門学校授業料軽減制度【東京都の制度】

1~3年生まで(入学後36ヶ月まで)の都内在住の学生を対象に、東京都が支援金を支給する制度です。都内在住を要件に、授業料の額と就学支援金支給額の差額(就学支援金の受給がない場合は授業料の全額)を東京都が支給することで授業料の負担軽減を図る制度です。

③高等教育の修学支援新制度【国の制度】

4~5年生及び専攻科1~2年生を対象とした授業料・入学料の減免と返還不要の給付型奨学金を支給する制度です。世帯収入、資産及び学業成績を満たした学生が対象となります。令和6年度から、多子世帯(扶養する子供が3人以上の世帯)には、収入要件が緩和され、支援対象が拡充されました。

④都立高専の新たな授業料減免制度【東京都の制度】

4~5年生及び専攻科1~2年生の学生を対象に、学生の生計維持者(原則、父母)が東京都内に在住している場合、東京都が授業料の支援を実施する制度です。本制度により、学生の生計維持者が都内在住の場合は、授業料が全額免除されます。

⑤入学料・授業料減免制度【東京都公立大学法人の制度】

経済的理由等により入学料・授業料の納付が困難な場合に、本人(保護者等)の申請に基づき、審査の上、入学料・授業料を減額又は免除する制度です。

⑥奨学金制度

奨学金制度は、人物・学力ともに優れ、かつ健康でありながら経済上の理由で修学困難と認められる学生に学資を給付・貸与する制度です。奨学生の募集は、学校を通じて行う場合と、地区又は団体で独自に行う場合があり、本校では、独立行政法人日本学生支援機構、東京都育英資金の制度について取り扱っています。

⑦奨学のための給付金【都道府県の制度】

1~3年生までの学生で、非課税世帯等を対象に、授業料以外の教育費を支援するための給付金を支給する制度です。

資格取得・大学編入サポート

本校では各種資格試験を単位化し、教育プログラムの中で学外学修単位として認定しています。資格試験のための講習会も行われ、多くの学生が積極的に参加しています。また、大学編入試験のための選択科目の配置、進学ガイダンスや大学教員による説明会等を行い、希望の大学に編入できるよう、サポートをしています。

本校で単位認定されている主な資格

- TOEIC・実用英語技能検定・技術英語能力検定・
- 陸上無線技術士・技術士補・CAD利用技術者・CG検定・
- 電気工事士・電気主任技術者・情報処理技術者・
- 航空無線通信士・電気通信主任技術者・機械設計技術者・
- シスコ技術者認定

高専生活 Q&A



Q1

高専と高校の違いは？

高専は、中学卒業後に入学できる、大学と同じ高等教育機関です。5年一貫の教育で実践的な技術と専門知識を身に付けることができます。また、卒業すると準学士の称号が与えられ、大学3年次への編入が可能です。



Q2

キャンパスやクラスはどうなるの？

入学試験の際に、1年生で通うキャンパスを選択します。1年生はコースに関係のない混成クラスになります。その後、2年生に進級する際に希望するコースを選んで勉強することになります。



Q3

どんな人が高専に向いている？

科学や工学に興味がある人、理数系が得意という人はもちろん、宇宙や飛行機が好き、車やロボットを作つてみたい、IT技術やプログラミングに興味がある人にも向いています。



Q5 勉強は大変？

5年間で高校・大学課程の多くを修得することになりますので、その分密度の濃い勉強することになります。その反面、大学受験などに時間を費やす必要がないので、放課後や長期休暇にはクラブ活動や自分の趣味に打ち込む余裕も十分にあります。



Q4

クラブ活動は？

それぞれのキャンパスにあるクラブ、同好会など20以上の団体から選んで参加できます。詳しくは17ページや本校のホームページをご覧ください。



Q6 どのコースを選んだらよいか わからないのですが？

1年生では、工学の基礎を全員同じ内容で学びます。また、コースを選ぶまでに説明会や研究室訪問が複数回行われます。勉強をしたり説明を聞く中で自分の適性を考えて、コース選択をすることができます。ですので、入学時点でコースがわからなくて大丈夫です。

女子中学生のみなさん228人の女子学生の先輩が待っています

Q 産技高専を選んだきっかけは何ですか？

中学生の頃、インダストリアルデザイナーを目指していました。物をデザイン(設計)するには物の仕組みや形状、加工法などを理解することが必要です。高専ではそれをきちんと学べること、CAD室があるなど設備面でも充実していることを知り、入学を決めました。

将来エンジニアとして設計や製作の現場にかかわっていきたかったからです。就職内定率が女子学生でも100%だったり、クラブの部長などで女子学生が活躍していたり、女子学生同士も仲がよく見えたからです。

Q 本校を目指す女子中学生にメッセージをどうぞ。

女子学生は少ないですが、その分みんな仲良しです！クラブ活動や委員会に入れば他の女子とも交流が持てるので楽しいと思います。勉強も先生が丁寧に教えてくれるので心配することないですよ!!

女子は少ないですが、先輩方はとても優しい方ばかりですので「女子が少ないから…」などと思う必要はありません。女子同士で確実に仲良くなることができます。



MESSAGES



校長 吉澤 昌純

本校の歩み

昭和37年4月1日

東京都立工業高等専門学校・東京都立航空工業高等専門学校開校

平成18年4月1日

両校を統合し東京都立産業技術高等専門学校開校

平成20年4月1日

公立大学法人首都大学東京(現・東京都公立大学法人)へ移管

実践力でSociety5.0時代をけん引しSDGsを実現する技術者へ

現在、新たな技術の導入により、社会全体が変革するSociety 5.0時代を迎えてます。そして昨今の異常な暑さ、「地球沸騰化」への対策が急務となり、SDGsの実現に向けた取り組みの重要性も大きく取り上げられています。そのような中、様々な分野でAIやロボットが重用され、革新的製品やビジネスモデルによって社会にイノベーションを生みだすスタートアップに注目が集まり、技術を活用してSDGsを実現する、そんな社会に大きく変わりつつあります。

そして今、“高専”が注目されています。2022年度、高専が誕生して60周年を迎え、新たな高専の開校も話題となりました。

なぜ、大学ではなく高専なのでしょうか。Society 5.0では①全てのモノと人をつなぎ②様々な知識や情報を共有し③今までにない新たな価値を生み出すことが求められます。そのような社会の要求に対し、これまでの高専の卒業生・修了生の活躍が高く評価され、これからも期待されているからではないでしょうか。

“未来をつくる人をつくる。”

本校には、Society5.0に向けAIやIoT等を積極的に活用した新たなものづくりをけん引し、更にスタートアップの中核となる実践的人材育成のための学びの場が多数用意されています。“未来をつくる人”になる、産技高専は、そんな皆さんを全力で応援します。

卒業生からのメッセージ



清住 友 さん

大田区立石川台中学校出身
機械システム工学コース 令和5年度卒
ソニーグローバルマニュファクチャリング
&オペレーションズ株式会社に就職

私はものづくりに対しての興味から高専に進学し、5年間かけて実践的な知識や技能を身につけてきました。実験実習やそれに伴うレポートには特に苦労しましたが、高専でしか得られない能力を高めることができ、卒業しても自信をもって活動していくことができそうです。高専はやる気があれば多くのことにチャレンジのできる恵まれた環境だと思います。まずは目の前のこと一生懸命取り組み、自分の興味を深めていってほしいです。



藤原 凜太郎 さん

所沢市立美原中学校出身
航空宇宙工学コース 令和5年度卒
岐阜大学 工学部 機械工学科
知能機械コースに進学

私はものづくりが好きで、飛行機にも興味があったため、高専を選びました。授業では受講した航空技術者育成プログラムも含めて、座学だけでなく、設計や製作、実験を通して自分の理解をさらに深めることができました。課外活動においては学生主体の団体が多く、私も人力飛行機研究部に所属し、たくさんの経験を通して自分の好きなことをさらに伸ばすことができました。みなさんも是非、高専で最高に楽しい5年間を過ごしてください。



梅原 伊吹 さん

江東区立深川第二中学校出身
情報通信工学コース 令和5年度卒
株式会社バンダイナムコスタジオに就職

何かしら技術的なことをして生きていきたい、と中学生らしい漠然とした考えの中で高専という道を選びましたが、ここには学問やら技術やらゲームやら、とにかく何かに夢中な人が大勢います。授業だけでなく学校生活すべてから、今後の人生の助けになるモノが多く得られます。今何かに少しでも興味があるなら、とにかく始めてみることが大事です。一風変わった高専という環境を十二分に利用してみてはいかがでしょうか。



林 俊汰 さん

川越市立城南中学校出身
電気電子工学コース 令和5年度卒
長岡技術科学大学工学部
電気電子情報工学分野に進学

私は特に興味のあるもののがなく、理系科目が得意という理由で産技高専に入学しました。高専では、授業や実験実習で専門的な知識を得ることができます。授業だけでなく、クラスメイトや部活動での会話などから新しい知識を得ることもあります。私はこうして知識が増える中で興味が惹かれるものを見つけられ、自分の力にできました。興味あるものがあつてもなくて心配せずに、高専で様々な知識を得て5年間の貴重な時間を過ごしてください。